大洲市農業委員会定例総会議事録

①	日 時	令和7年5月8日（木）午前10時00分～午前11時00分					
②	会 場	大洲市役所2階 大ホール					
③	出席委員						
1	池田幸二			3	武田隆宏	4	藤田秀美
5	西岡輝治			7	明後久利		
9	菊地正夫	10	幸野登吉	11	二宮康壽	12	川本由紀美
		14	一柳幸唯			16	形山康浩
17	高岡利典	18	津國巳代子			20	森永茂史
21	橋本英司	22	都築孝壽	23	武内誠	24	池浦萬里子
25	津田勇	26	田中賢寿	27	永沼寛	28	日野修次
29	大本昭裕	30	武知由美子	31	上満啓司	32	中本祐市
		34	跡部雅	35	堀内保宏	36	和氣繁輝
37	細井敏江	38	有友章治	39	請田竹男		
④	欠席委員	2	吉岡きみ子	6	須藤賢一	8	森岡芳文
		13	矢野正祥	15	平井城太郎	19	池田雄一
		33	坂幹幸				
⑤	遅刻委員						
⑥	事務局	井上事務局長		富永次長		三瀬専門員（農地）	
		松田専門員（農政）		吉田書記			
⑦	農林振興課	竹田課長		松森主査		吉田主事	
⑧	会議の内容	議案第28号	農地法第3条の規定による許可申請について				
		議案第29号	農地法第4条第1項の規定による許可申請について				
		議案第30号	農地法第5条第1項の規定による許可申請について				
		議案第31号	農地法第6条第1項の規定による農地所有適格法人報告について				
		議案第32号	非農地証明について				
		議案第33号	農業振興地域整備計画の変更について				
		議案第34号	納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明について				
		議案第35号	令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表について				
		議案第36号	令和7年度最適化活動の目標の設定等について				
		議案第37号	農用地利用集積等促進計画案への意見聴取について				

事務局（局長）	<p>只今から、令和7年第5回大洲市農業委員会定例総会を開会いたします。</p> <p>開会にあたりまして、幸野会長にご挨拶をお願いいたします。</p>
会 長	（会長挨拶）
事務局（局長）	<p>只今から議案審議に移ります。会議規則第3条により幸野会長に議事進行をお願いいたします。</p>
議 長（会長）	<p>これより本日の会議を開きます。</p> <p>出席委員は農業委員19名中15名、推進委員20名中17名で定足数に達しておりますので、総会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>本日、2番 吉岡きみ子委員、6番 須藤賢一委員、8番 森岡芳文委員、13番 矢野正祥委員、15番 平井城太郎委員、19番 池田雄一委員、33番 坂幹幸委員より欠席の報告を受けております。</p> <p>本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。</p> <p>まず、日程第1 議事録署名委員の指名を行います。</p> <p>議事録署名委員に、9番 菊地正夫委員と11番 二宮康壽委員を指名いたします。</p> <p>次に、日程第2 書記の指名を行います。</p> <p>本日の会議の書記に、事務局の吉田書記を指名いたします。</p> <p>それでは、日程第3 議案審議に入ります。</p> <p>まず、議案第28号『農地法第3条の規定による許可申請について』を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局（専門員兼農地係長）	<p>議案書の1ページをご覧ください。</p> <p>1番は、西大洲字椎ノ森の畑1筆125.00㎡について、譲受人が、空き家バンクに登録された物件付近の農地をあわせて取得し、新たに耕作管理を始めるものです。</p> <p>所有権移転後は、野菜を栽培する計画です。</p> <p>農業は、譲受人家族が年間を通して従事します。</p> <p>2番は、阿蔵字三反田の畑3筆1,473㎡について、譲受人が経営規模の拡大を図るため、申請地を取得するものです。</p> <p>所有権移転後は、果樹を栽培する計画です。</p> <p>農業は、譲受人家族が年間を通して従事します。</p> <p>3番は、田口字河内の畑2筆・262㎡について、譲受人が経営規模の拡大を図るため、申請地を取得するものです。</p> <p>所有権移転後は、果樹を栽培する計画です。</p> <p>農業は、譲受人家族が年間を通して従事します。</p> <p>4番は、柴の畑4筆1,948㎡について、譲渡人が県外在住で耕作管理が困難なため、譲受人が申請地を取得し新たに耕作管理を始めるものです。</p> <p>所有権移転後は、野菜や果樹を栽培する計画です。</p> <p>農業は、譲受人本人が年間を通して従事します。</p> <p>5番は、長浜町櫛生の樹園地1筆5,464㎡について、譲受人が経営規模の拡大を図るため、申請地を取得するものです。</p> <p>所有権移転後は、果樹の栽培をする計画です。</p> <p>農業は、譲受人本人が年間を通して従事します。</p>

以上、5件のご審議をよろしく願いいたします。

議長（会長）

只今、事務局より説明がありましたが、まず、地元委員より報告を受けたいと思います。

1番。

1番

1番、2番案件について、続けてご説明いたします。

議案説明資料は、2ページを参考にしてください。

1番案件は、売買による所有権移転です。

申請地は、愛媛県立大洲高等学校から南西へ約240mのところにある農地です。

先月21日に、事務局職員と現地確認を行いました。

申請地は一部雑草が生えておりますが、今後、譲受人が整備を行い、耕作管理していくとのことです。

今回、申請地を取得するにあたって、譲受人より、空き家バンク制度を利用して土地・家屋と農地を購入することになっており、今後はさつまいもなどを栽培したい旨の新規営農計画書が提出されております。今後は、家族で耕作管理を行うとのことです。今後の耕作状況を見守っていくこととします。

続きまして、2番案件についてご説明します。

議案説明資料は3ページを参考にしてください。

2番案件は、売買による所有権移転です。

申請地は、大洲市立喜多小学校から西へ約1.1kmのところにある農地です。

先月21日に、事務局職員と現地確認を行い、申請地には柿や栗が植えられており、良好に管理されていることを確認しました。

譲受人は、家族で年間を通して農業に従事しており、今後も果樹の栽培を行うため、耕作管理に問題はないと考えます。

そのほかの調査結果については、議案説明資料に記載のとおりで、1番案件、2番案件ともに、農地法第3条第2項の第1号関係から第6号関係までの規定に該当する事項はありません。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長（会長）

3番。

5番

3番案件について、ご説明いたします。

議案説明資料は4ページを参考にしてください。

3番案件は、売買による所有権移転です。

申請地は、大洲市立大洲北中学校から南へ約200mのところにある農地です。

先月21日に、事務局職員と現地確認を行い、申請地には梅が植えられており、良好に管理されていることを確認しました。

譲受人は、家族で年間を通して農業に従事しており、今後も果樹の栽培を行うため、耕作管理に問題はないと考えます。

そのほかの調査結果については、議案説明資料に記載のとおりで、農地法第3条第2項の第1号関係から第6号関係までの規定に該当する事項はありません。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議 長（会長）

4 番。

3 1 番

4 番案件についてご説明いたします。
議案説明資料は5 ページを参考にしてください。
4 番案件は、売買による所有権移転です。
申請地は、養護老人ホームさくら苑から北西へ約500mのところに
ある農地です。
先月22日に、事務局職員と現地確認を行い、申請地には柿や栗、梅
等が植えられており、良好に管理されていることを確認しました。
今回、申請地を取得するにあたって、譲受人より、今後は野菜や果樹
等を栽培する旨の新規営農計画書が提出されております。
譲受人は地域おこし協力隊として、青年農業者等との関わりなどから
農業を学んでおり、今後は、本人が年間を通して農業に従事するとの
ことですので、今後の耕作状況を見守っていくこととします。
そのほかの調査結果については、議案説明資料に記載のとおりで、農
地法第3条第2項の第1号関係から第6号関係までの規定に該当する事
項はありません。
ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議 長（会長）

5 番。

2 6 番

5 番案件について、ご説明いたします。
議案説明資料は6 ページを参考にしてください。
5 番案件は、贈与による所有権移転です。
申請地は、櫛生コミュニティセンターから北東に約1.2kmのところ
にある農地です。
先月22日に、事務局職員と現地確認を行い、申請地にはキウイフル
ーツが栽培されており良好に管理されていることを確認しました。
譲受人は、現在も果樹などを栽培しており、今後も本人が年間を通し
て農業に従事するとのことであり、耕作管理に問題はないと考えます。
そのほかの調査結果については、議案説明資料に記載のとおりで、農
地法第3条第2項の第1号関係から第6号関係までの規定に該当する事
項はありません。
ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議 長（会長）

地元委員からの報告がありましたが、何かご質疑はありませんか。

委 員

（質疑なし）

議 長（会長）

特にご質疑もないようですので、本案を申請のとおり許可すること
にご異議ありませんか。

委 員

（異議なし）

議 長（会長）

ご異議ないものと認め、本案は申請のとおり許可することに決定いた
しました。
次に、議案第29号『農地法第4条第1項の規定による許可申請につ
いて』を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

事務局（専門員兼
農政係長）

議案第29号「農地法第4条第1項の規定による許可申請について」
ご説明いたします。

議案書2ページ並びに議案説明資料の7ページから10ページをあわせてご覧ください。

1番、手成の土地1筆です。

申請地は、自宅から遠く、傾斜があるので農業用機械が入らず、耕作が困難なため、杉及び桧を植林して、山林として管理するものであります。

本案件につきましては、昨年11月の第11回定例総会で農用地区域の除外についてご審議いただきました案件であり、農振法第12条公告がなされています。

申請地は、議案説明資料8ページ及び9ページの位置図において赤色の箇所となっており、大洲市内中心部から北に約7.9kmのところに位置し、付近には公共施設等がなく、一定規模以上の農地の集団性がない生産性の低い農地であることから、第2種農地と判断いたしました。

一般基準の各審査項目につきましては、議案説明資料7ページをご確認ください。

以上1件です。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長（会長）

只今、事務局より説明がありましたが、まず、地元委員より報告を受けたいと思います。

1番。

22番

1番案件について、調査結果をご報告いたします。

議案説明資料の7ページから10ページをご覧ください。

本件は、昨年11月に開催されました第11回定例総会の議案第66号「農業振興地域整備計画の変更について」におきまして、農地転用を前提とした農用地区域の除外を審議した案件となっております。

調査結果は、第11回定例総会でご説明いたしましたとおり、立地基準、一般基準において、どちらもその時の状況と変わっておりませんので、調査報告書記載のとおり問題ないものと思われま。

また、周辺農地等への影響につきましては、申請地は周囲を河川及び自己所有地に囲まれており、各項目につきまして適当と思われることから、特に問題ないものと考えます。

なお、既に当該土地の一部は、植林をされており、違反転用になっていることから始末書が提出されております。

よって、本件は、農地法第4条第2項の各号には該当しないため、許可相当であると考えます。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長（会長）

地元委員から報告がありましたが、何かご質疑はありませんか。

委員

（質疑なし）

議長（会長）

特にご質疑もないようですので、本案を申請のとおり許可相当として送付することにご異議ありませんか。

委員

（異議なし）

議長（会長）

ご異議ないものと認め、本案は申請のとおり許可相当として送付することに決定いたしました。

次に、議案第30号『農地法第5条第1項の規定による許可申請について』を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

事務局（次長）

議案第30号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」ご説明いたします。

議案書3ページ並びに議案説明資料11ページから21ページまでをあわせてご覧ください。

1番、若宮の土地2筆合計999㎡の案件は、譲受人が事業を行うにあたり、申請地は住宅地として需要が見込まれるため、宅地造成して分譲事業を行うために、売買により取得しようとするものです。

農地区分は、大洲市中心部から北北東に約1.4kmのところの位置し、都市計画法第8条第1項第1号に規定する用途地域（第一種住居地域）内にある農地であることから、第3種農地と判断しております。

したがいまして、立地基準には適合しており、一般基準についてご審議をお願いいたします。

なお、本申請地の一部は、露天の貸駐車場としている違反転用の状態です。これについて譲渡人から始末書が提出され、反省しておりますので、追認していただきますようお願いいたします。

2番、田口の土地138㎡の案件は、譲受人世帯は、現在借家で居住しているが、子供の成長に伴い手狭で不便なため、申請地を取得して自己住宅を建築しようとするものです。

農地区分は、大洲市中心部から北東に約4.8kmのところの位置し、農地の一定規模以上の集団性や公共施設等も近くになく、生産性の低い農地であることから第2種農地と判断しております。

したがいまして、立地基準の代替性と一般基準について、ご審議をお願いいたします。

3番、菅田町大竹の土地148㎡の案件は、譲受人が事業拡大を行うにあたり、新たに事業用地が必要となったため、申請地を取得して型枠置場にしようとするものです。

農地区分は、大洲市中心部から東南東に約2.3kmのところの位置し、農地の一定規模以上の集団性や公共施設等も近くになく、生産性の低い農地であることから第2種農地と判断しております。

したがいまして、立地基準の代替性と一般基準について、ご審議をお願いいたします。

以上3件でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議長（会長）

只今、事務局より説明がありましたが、まず、地元委員より報告を受けたいと思います。

1番。

事務局（次長）

吉岡きみ子委員より報告書を預かっておりますので代読いたします。それでは、1番案件の調査結果をご報告いたします。

議案説明資料の11ページから14ページを、参考にしてください。申請地は12ページの位置図のとおり、JR伊予大洲駅から東へ約200mに位置する農地になります。

議 長 (会長)

5 番

まず、立地基準については、事務局説明のとおり第3種農地であり、特に問題ないものと思われま

す。次に、一般基準である第3号の「転用の確実性」ですが、許可があり
しだい自己資金にて着工したいとのことであり、問題ないものと思われ
ます。

また、第4号の「周辺農地等への影響」ですが、13ページの地番地
目図のとおり、申請地に隣接する農地がありますが、隣接農地所有者の
同意を得ているとのことであり、特に問題ないものと思われま

す。よって本件は、農地法第5条第2項の各号には該当しないため、また、
違反転用に関しましては、譲渡人より始末書が提出され、反省している
ようですので、追認許可はやむを得ないものと考えま

す。ご審議のほど、よろしくお願

いいたします。
2 番。

2 番案件の調査結果をご報告いたし

ます。
議案説明資料の15ページから18ページを参考にしてくだ

さい。申請地は
16ページの位置図のとおり、大洲市立大洲北中学校から東北東へ約
900mに位置する農地になります。

まず、立地基準については報告書記載のとおりであり、特に問題ない
ものと思われま

す。次に、一般基準である第3号の「転用の確実性」ですが、許可があり
しだい自己資金及び借入金にて着工したいとのことであり、問題ないも
のと思われま

す。また、第4号の「周辺農地等への影響」ですが、17ページの地番地
目図のとおり、隣接に農地はありませんので、特に問題ないものと思わ
れま

す。よって本件は、農地法第5条第2項の各号には該当しないため、許可
相当であると考えま

す。ご審議のほど、よろしくお願

議 長 (会長)

事務局 (次長)

3 番。

矢野正祥委員より報告書を預かっておりますので代読いたし

ます。
それでは、3番案件の調査結果をご報告いたし

ます。
議案説明資料の19ページから21ページを参考にしてくだ

さい。
申請地は、20ページの位置図のとおり、松山自動車道大洲富士イン
ターチェンジ宇和島方面登り口から南西へ約800mに位置する農地に
なりま

す。まず、立地基準については報告書記載のとおりであり、特に問題ない
ものと思われま

す。次に、一般基準である第3号の「転用の確実性」ですが、許可があり
しだい自己資金にて着工したいとのことであり、問題ないものと思われ
ま

す。また、第4号の「周辺農地等への影響」ですが、21ページの地番地
目図のとおり、申請地の隣接に農地がありますが、隣接農地所有者の同
意を得ているとのことであり、特に問題ないものと思われま

す。よって本件は、農地法第5条第2項の各号には該当しないため、許可

	相当であると考えます。 ご審議のほど、よろしく願いいたします。
議 長（会長）	地元委員から報告がありましたが、何かご質疑はありませんか。
委 員	（質疑なし）
議 長（会長）	特にご質疑もないようですので、本案を申請のとおり許可相当として送付することにご異議ありませんか。
委 員	（異議なし）
議 長（会長）	ご異議ないものと認め、本案は申請のとおり許可相当として送付することに決定いたしました。 次に、議案第31号『農地法第6条第1項の規定による農地所有適格法人報告について』を議題といたします。 事務局の説明を求めます。
事務局（専門員兼農地係長）	議案第31号について、ご説明します。 議案書4ページをご覧ください。 当議案では、前年度の事業状況報告がありました農地所有適格法人について、要件を満たしているかご審議をお願いするものです。 要件については、前のスライドに表示しておりますので参考にしてください。 1番 有限会社ふじブドウ園は、主にぶどうの栽培を行っています。 ①「法人組織」は特例有限会社、②「事業の限定」は生産する農畜産物及びその関連する事業等のすべてが農業による売上であります。 ③「構成員の資格」は2名で、④の「経営責任者の要件」は執行役員3人中2人が農業常時従事者であり、かつ年間60日以上農作業に従事しております。 以上、1件の報告書等を確認しましたところ、議案書に記載のとおり、農地所有適格法人の要件を備えているものと思われます。 ご審議のほど、よろしく願いいたします。
議 長（会長）	只今、事務局より説明がありましたが、何かご質疑はありませんか。
委 員	（意見なし）
議 長（会長）	特にご質疑もないようですので、報告書の内容については承認することにご異議ありませんか。
委 員	（異議なし）
議 長（会長）	ご異議ないものと認め、報告書の内容については承認することにするに決定いたしました。 次に、議案第32号『非農地証明について』を議題といたします。 事務局の説明を求めます。
事務局（専門員兼	議案第32号「非農地証明について」ご説明いたします。

農政係長)

議案書5ページ並びに議案説明資料22ページから26ページまでをあわせてご覧ください。

1番、肱川町宇和川の土地3筆合計1,598㎡の案件は、自然潰廃(20年以上耕作放棄)し、また、転用(植林に限る:20年以上経過)し、復旧が著しく困難ということで、申請があったものでございます。

申し出によりますと、申請地のうち登記地目が畑の農地については、急勾配な斜面であり、耕作管理が非効率であったため、昭和60年頃に亡父が植林し、また、登記地目が田の農地については、平成6年に父が亡くなった後は、居住地が遠方なため耕作管理ができず、耕作放棄した結果、自然潰廃して雑木が繁茂しており、各申請地について、農地として復旧することが著しく困難となったとのことでございます。

以上、1件でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議長(会長)

只今、事務局より説明がありましたが、まず、地元委員より報告を受けたいと思います。

1番。

32番

1番案件の調査結果をご報告いたします。

議案説明資料の22ページから26ページを参考にしてください。申請地は23ページの位置図のとおり、上小薮集会所から約100mから700mまでの範囲に位置する農地になります。

4月18日に事務局担当者と現地確認を行いました。

申請者の申立て、現地調査による樹木の生育状況や土地の荒廃状況などから、少なくとも植林又は耕作放棄から20年以上経過しているものと推察することができ、農地への復旧には開墾と同程度の労力が必要であると考えられることから、復旧は著しく困難と思われま。

よって本件は、非農地と判断して差し支えないと考えます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議長(会長)

地元委員から報告がありましたが、何かご質疑はありませんか。

委員

(質疑なし)

議長(会長)

特にご質疑もないようですので、この証明願に係る土地については非農地と判断し証明書を交付することにご異議ありませんか。

委員

(異議なし)

議長(会長)

ご異議ないものと認め、この証明願に係る土地については非農地と判断し証明書を交付することに決定いたしました。

次に、議案第33号『農業振興地域整備計画の変更について』を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

事務局(専門員兼農政係長)

議案第33号「農業振興地域整備計画の変更について」をご説明いたします。

議案書6ページ及び議案説明資料の27ページから35ページまでをあわせてご覧ください。

今回は、農用地区域への編入2件及び農用地区域からの除外1件で

ございます。

はじめに、農用地区域編入関係です。

1番、長浜町今坊の土地1筆556㎡の案件は、中山間地域等直接支払制度対象農地周辺に存在する優良農地であり、隣接する農地と一体的に生産の振興と農地の保全を図るため編入をするものです。

2番、長浜町出海の土地1筆3,928㎡の案件は、中山間地域等直接支払制度対象農地周辺に存在する優良農地であり、隣接する農地と一体的に生産の振興と農地の保全を図るため編入をするものでございます。

編入2件、2筆計4,484㎡となっております。

次に、農用地区域除外関係です。

1番、野佐来の土地、2筆計49㎡の案件は、申出者の家族構成の変化により、新たな住宅及び駐車場が必要となり、これらの建設を計画しているため、除外の計画変更をしようとするものです。

除外後の農地区分は、大洲市中心部から南に約4.2kmの所に位置し、農地の一定規模以上の集団性や公共施設等も近くになく、生産性の低い農地であることから第2種農地と判断しております。

除外1件、2筆計49㎡となっております。

以上、編入2件、除外1件でございます。ご審議のほど、よろしくお願いたします。

議長（会長）

只今、事務局より説明がありましたが、まず、地元委員より報告を受けたいと思います。

1番。

9番

1番案件について、調査結果をご報告いたします。

議案説明資料の31ページから35ページをご覧ください。

まず、立地基準である第2号の「代替性要件」につきましては、報告書記載のとおりであり、問題ないものと考えます。

次に、一般基準である「転用の確実性」につきましては、申出人は、家族構成の変化により、新たな住居が必要となったため、自己住宅及び駐車場を建設しようとしているため、問題はないものと思われま

す。なお、既に当該土地及び一体利用地は、自己住宅及び駐車場として利用されており、違反転用になっていることから始末書が提出されております。

また、「周辺農地等への影響」につきましては、申請地のうち、自己住宅の周囲については市道及び住宅地に囲まれており、また、駐車場は農地に隣接しているものの高低差があるため、各項目につきまして適当と思われることから、問題ないと考えます。

よって、本件は、農地法第4条第2項の各号には該当しておらず、転用許可相当として、農業振興地域整備計画の農用地区域からの除外についてはやむを得ないものと思われま

す。ご審議のほど、よろしくお願いたします。

議長（会長）

地元委員から除外についての報告がありましたが、編入・除外について何かご質疑はありますか。

委員

（質疑なし）

議 長 (会長)	特にご質疑もないようですので、原案のとおり農用地区域から除外することにご異議ありませんか。
委 員	(異議なし)
議 長 (会長)	ご異議ないものと認め、原案のとおり認めることにいたします。 次に、議案第34号『納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明について』を議題といたします。 事務局の説明を求めます。
事務局 (専門員兼農政係長)	議案第34号「納税猶予に係る引き続き農業を行っている旨の証明について」ご説明します。 議案書は7ページを、議案説明資料は36ページをご覧ください。 租税特別措置法第70条の4第1項又は第70条の6第1項の規定に基づき、贈与税又は相続税の納税猶予の適用の特例を受けている者が、その特例の適用を継続して受けるために3年ごとに税務署に納税猶予の継続届出書を提出する必要がある、その添付書類として、農業を引き続き行っている旨の農業委員会の証明書を提出する必要があります。 この議案は、申請者が引き続き農業経営を行っていることを証明することについて、ご審議いただくものです。 1番は、若宮の申請人です。 申請農地は、若宮にあります3筆で計1,722㎡になります。納税猶予の種類は相続税となっており、相続日は平成24年8月5日となっております。 対象の農地につきましては、全て耕作管理されておりました。 以上、1件です。ご審議のほど、よろしく願いいたします。
議 長 (会長)	只今、事務局より説明がありましたが、まず、地元委員より報告を受けたいと思います。 1番。
事務局 (専門員兼農政係長)	吉岡きみ子委員から報告書を預かっておりますので代読させていただきます。 1番案件の調査結果をご報告いたします。 議案説明資料の36ページを参考にしてください。申請地は36ページの位置見取図のとおり、若宮コミュニティセンターを中心として約40mから250mまでの範囲内に点在する農地3筆になります。 申請人は、主に野菜を栽培しております。 4月21日に事務局担当者と現地確認を行い、対象農地は、畑として耕作されており農業が行われていることを確認しました。申出によると、玉ねぎなどの野菜や梅を栽培されているようです。 対象農地を利用し、農業経営を行っていることから、この証明書の交付については問題ないと考えます。 ご審議のほど、よろしく願いいたします。
議 長 (会長)	地元委員から報告がありましたが、何かご質疑はありませんか。
委 員	(質疑なし)

議長（会長）	<p>特にご質疑もないようですので、この証明願に係る土地については引き続き農業経営を行っている旨の証明書を交付することにご異議ありませんか。</p>
委員	(異議なし)
議長（会長）	<p>ご異議ないものと認め、この証明願に係る土地については引き続き農業経営を行っている旨の証明書を交付することに決定いたしました。</p> <p>次に、議案第35号『令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表について』と議案第36号『令和7年度最適化活動の目標の設定等について』を一括して議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局（次長）	<p>議案第35号「令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表について」と議案第36号「令和7年度最適化活動の目標の設定等について」を、一括してご説明いたします。</p> <p>議案書8ページから16ページまでを、ご覧ください。</p> <p>この2つの議案につきましては、先月の定例総会において、協議事項として挙げさせていただきましたが、この内容につきまして、委員の皆様から格別ご意見もありませんでしたので、ここに記載しておりますとおり、今後、愛媛県を通じて中国四国農政局へ報告させていただきます。</p> <p>以上、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>只今、事務局より説明がありましたが、何かご質疑はありませんか。</p>
委員	(質疑なし)
議長（会長）	<p>特にご質疑もないようですので、本案を原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
委員	(異議なし)
議長（会長）	<p>ご異議ないものと認め、本案は原案のとおり決定することにいたします。</p> <p>次に、議案第37号『農用地利用集積等促進計画案への意見聴取について』を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局（専門員兼農地係長）	<p>議案書17ページをご覧ください。</p> <p>本案件につきましては、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定により、大洲市長より農業委員会に対して、農用地利用集積等促進計画案に対する意見を求められたため、農業委員会の意見を決定するものです。</p> <p>貸し手、借り手、土地の所在その他、各計画内容につきましては、記載のとおりです。</p> <p>今回の概要は、利用権設定のうち賃貸借の件・筆数が38件・74筆、利用権設定96, 326㎡、使用貸借の件・筆数が26件・26筆、利用権設定24, 654㎡で、議案書35ページに記載のとおり、合計利</p>

用権設定の件・筆数が64件・100筆、利用権設定の総面積は120,980㎡です。

問題なければ意見について特になしと回答することとしたいと考えております。

説明は以上です。

議長（会長）

只今、事務局より説明がありましたが、何かご意見はありませんか。

委員

（意見なし）

議長（会長）

特にご意見もないようですので、本案を原案のとおり意見なしとして市長へ答申することにご異議ありませんか。

委員

（異議なし）

議長（会長）

ご異議ないものと認め、本案を原案のとおり意見なしとして市長へ答申することに決定いたしました。

以上で、本日の定例総会に提案しました議案のすべての審議が終了いたしましたので議事を閉じることいたします。